

春告草

第158号 令和元年10月30日 進路指導部発行

建築学部独立化の動き

最近、工学部建築学科が建築学部独立している傾向がある。工学院大、芝浦工業大などに引き続き来年度には東京都市大も工・知識工の2学部を理工・情報工・建築都市デザインの3学部へ改組する。1級建築士の受験資格が得られることで建築志望女子の穴場の存在である昭和女子大生活科学部環境デザイン学科も来年度から環境デザイン学部へ独立し、さらに明星大学にも新たに建築学部が誕生する。明星大建築学部の内容紹介を中心に、新たな建築学部像をレポートしてみたい。

建築学部が独立しているヨーロッパ

ヨーロッパの風景というと、石レンガの古い街並みや明るい日差しがオレンジの屋根に降り注ぐ地中海のイメージを思い浮かべる人がいるのではないだろうか。古いものを残しつつ、日常の生活に取り込み、地域全体をトータルでデザインしているところに気品を感じ、その中で生活する人は心の安らぎを感じることができる。建築を学んでいる学生がヨーロッパに研修旅行に訪れる機会も多いようだ。

建築の伝統が深く根付いたヨーロッパでは、家を建てること一つをとっても、日本に比べてもっと身近なことであり建築物や街並みに対する住民の当事者意識は、はるかに高い。子どもころからの建築教育にも熱心で、芸術、美学系に加えて経済学や心理学など、人文・社会科学系の科目も充実し、建築を中心とする体系だった教養教育が行われている。イタリアでは学生数5000人以上の規模の建築学部をもつ大学もあるという。卒業生のすべてが建築士になるわけではないが、建築についての基礎的素養を持ち、街作り、身の回りの環境に対して意識の高い市民、行政マンを数多く輩出している。

明星大学 建築学部を新設

「教育の明星大学」というコトバがある。教育学部が明星大学の看板学部であることを表現したキャッチコピーだが、その明星大学に建築学部が新設される。これまでの理工学部総合理工学科建築学系から独立して誕生する学部で、文理融合型の人材育成を目指すという。これまで建築学部、建築学科というと工学的アプローチやデザインにウェイトをおいた芸術学的アプローチ、家政学的アプローチが一般的だったが、明星大は文理融合型を目指すという。

文理融合型の人間学としての建築学

新学部の学部長への就任が予定されているのが村上晶子同大教授。東京藝術大学美術学部建築学科を卒業後、個人事務所を経て、ご自身の個人事務所も開設している現役バリバリの建築家である。教会建築が専門で上智大に隣接する聖イグナチオ教会も同教授の設計によるものだ。

現在、建築を取り巻く諸課題には、人口減少社会の中でのインフラの老朽化や空き家問題、環境問題などがある。これらを解決するため、これからの建築家、街作りの専門家には幅広い視野や多岐にわたる能力が求められる。世界を魅了する景観、歴史的建造物が多くみられるヨーロッパに比べて、日本の街並みは個性がなく、美しさに欠けると評されることがあるが、村上教授は日頃から「建築の分かる市民、行政職員の数をヨーロッパ社会のように増やしたい」と語られている。

教授によれば、文理融合という近年は、AIの進化、Society5.0への移行を視野に、文系の学生に向けて語られることが多いが、建築教育においては、理系人材に対する文理融合型教育が極めて重要だという。社会における様々な課題、世界を見据えた時のSDGsに象徴されるような課題、社会インフラの構築を担うものとしての倫理観などについて意識を高めることが、これからの理系人材、技術者には不可欠だというのが理由である。

3つの履修モデル 卒業時には一級建築士受験資格取得

1年次に基礎科目、専門基幹科目を履修した後、2年次からは「建築デザイン」「住宅デザイン」「建築都市デザイン」の3つの履修モデルを選択し、専門発展科目を履修する。どのモデルにも3年次にはそれぞれのデザインスタジオ科目が置かれ、体験から学ぶことを重視している。

専任教員(研究室)も増員し、現在の10名から18名体制となる。スタッフには実務家教員の他、市民との合意形成や集合住宅における住宅計画などについて考えるコミュニティデザインの教員、木工の専門家もそろえるという。

2020年から建築士試験の受験要件が緩和され、卒業直後の受験が可能となるが、これに合わせて必修科目の単位をすべて取得すると学部卒業時に一級建築士受験資格が得られるようカリキュラムも整備される。4年次には、卒業研究と並行して受験対策講座も設けられる予定だ。

文系にも開かれた入試制度

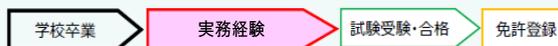
新学部の大きな特徴の一つが、文系の人にも建築への道を開いている点である。人間に興味があり、世の中や日本をキレイにしたい。日本の建築や街作りに素朴な疑問を感じている、あるいは建築や街作りに強い関心がある人なら、文系の人でも歓迎するということだ。したがって入試科目も他学部と共通である。全9学部の試験は同一日程で実施され、1回の受験で複数の学部を併願することができる。前期A方式では国語、外国語、理科・地歴、数学の4教科から3教科以上を受験し、高得点3教科の成績で合否が決定されるが、建築は数学必須で「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B」を解答する。数学Ⅲの試験は課されないが、構造計算に必要な基礎的な数学、解析学、幾何学や物理の力学などは、入学後に学ばばよいとしている。定員は120名で、一般入試枠は40名、センター利用入試枠は10名となっている。キャンパスは他学部と同様、日野キャンパスで、多摩都市モノレール「中央大学・明星大学駅」下車である。丘の上のキャンパスだが、駅からエスカレーターが直結しているので快適だ。

明星大学建築学部における履修3モデル

モデル	内容・研究分野	将来の進路イメージ
建築デザインモデル	建築デザイン(意匠)などを中心に、建築を総合的に学ぶ。「建築デザイン」「建築計画」「都市デザイン」「建築史」「建築環境・設備」などが研究分野	建築設計事務所、総合建設会社、建設コンサルタント会社、設備関連会社、不動産関連会社、公務員、大学院進学
住宅デザインモデル	主に住宅建築に関して学ぶモデル。インテリアなどへの理解も深められる。「住宅設計」「住環境」「住宅構法」などが研究分野	建築設計事務所、ハウスメーカー、工務店、家具メーカー、リノベーション関連会社、照明メーカー、大学院進学
建築都市デザインモデル	主に大規模建築や都市などの強度や安全性などを追究する。「建築構造」「建築材料」「建築生産」「耐震工学」「地盤工学」「都市防災」などが研究分野	総合建設会社、建設会社(土木・道路)、ビル管理・メンテナンス関連会社、鉄道会社、高速道路会社、航空・湾岸管理会社、公務員、大学院進学

一級建築士受験資格要件の緩和 (建築技術教育普及センター資料より)

【改正前】



【改正後】



※卒業後 A+B=所定の年数以上

実務経験については、卒業から免許登録までに所定の年数以上必要となります。

ここでの学校とは、指定科目の確認を行った大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、職業能力開発大学校等を想定しています。

資格要件緩和の背景には、1級建築士の高齢化問題がある。現在、1級建築士で働いている人の平均年齢は50歳代で、1級建築士免許取得者の年代別割合で20歳代は1%台だという。免許登録には、大卒の場合2年間の実務経験が必要だが、30歳前に1級を取得できると大きなアドバンテージになる。

■東京大学「女子高生のための東京大学説明会」

期日 令和元年11月4日(月)10時~13時(キャンパスツアーは14時30分~) 要事前申し込み

内容 東大の教育について、在学女子学生によるプレゼンテーション、在学女子学生を交えた交流会

会場 本郷キャンパス法文2号館31番教室(東京メトロ東大前駅下車徒歩1分)

※女子中高生向け冊子『Perspectives』ダウンロード→<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400111491.pdf>

■東京農工大学「秋のオープンキャンパス~研究室大公開~」

期日 令和元年11月10日(日)11時~17時(入退場自由)

内容 研究発表会(ポスター発表)、研究室公開、模擬授業(13:00~13:45)、学科説明会(①14:00、②14:30)、

特別講演会(15:00~15:50)、女子カフェ(①13:00~、②15:00~ 在学女子学生と懇談)、個別相談など

会場 工学部小金井キャンパス(JR東小金井駅下車徒歩6分)

ワクワク ドキドキを期待 大学模擬講義で興味関心のベクトルを発見しよう

5年生は来年の科目選択を考えなければいけない時期になりました。受験科目に何を選ぶのか、きちんと調べて自分の能力や適性なども考え合わせて、間違いのない選び方をしたいものです。文理選択、場合によっては学部・学科を選ぶ最後の機会となるかも知れません。

4年生は夏休みのオープンキャンパスで、それぞれの大学固有のカラーや雰囲気を感じて、大学進学への気持ちが強くなったことでしょう。オープンキャンパスでの模擬授業を聴いて、その分野への興味が湧いてきたという人もいたことだと思います。

さて、今年も4年生5年生を対象に「大学模擬授業」を校内で行います。

これから大学生になろうという皆さんには、進路選択にあたっての判断材料になることを多くの機会を経験してもらいたいと思います。5年生にとっては2回目ですが、昨年とは違う刺激を受けるかも知れません。

2日間にわたって16の講座が開かれますが、講義内容の案内文を読んだだけでも、何か魅かれるものがあるのではないのでしょうか。2日間の中から1講座選ぶことになっていますが、1日だけと言わず、ぜひ2日間「大学での学び」を体験してもらいたいと思います。6年生の聴講も歓迎します。

大学模擬講義講座一覧

1日目 11月12日

系統	内 容
史学	「暮らしのなかの世界史—歴史と人間—」 どうして先生に敬語を使うのか、日本食に刺身のような生ものがあるのはなぜか、説明できますか。私たちの生活と世界史とのかかわりについて一緒に議論しながら、歴史を学ぶことの必要性について考えましょう。
法学	「法の解釈を考えてみる—法の世界に『正解』はあるのか?」 「法」「法律」と聞くと、ものすごく難しい、堅いものであるように感じられるだろう。その理由の一つは、高校までの授業で「法」を詳しく学ぶことが少ないことにある。この模擬授業では「法」の世界は必ずしも堅くはない、むしろ人によって様々なとらえ方があり、時には柔軟にとらえられることがあることを示したいと考えている。具体的には、簡単な事例をグループ単位に考えてもらい、法の世界について考えてもらうことを試みる。
経済学	「グローバルゼーションは仕事を奪うか」 ヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えて移動するグローバルゼーションが進んでいますが、他方で、輸入品にかかる関税を引き上げたり移民を規制したりする動きも目立ってきました。グローバルゼーションのメリット・デメリットについて簡単な経済モデルを使って考えてみます。また、このトピックを通じて、経済学とはどんな学問なのか、特徴についてもふれます。
教育学	「やる気と集中力」 やる気と集中力を高めるにはどうすればよいか。心理学がこの問題をどう考えるかをとりあげる。
生命科学	「魚の性は環境で変わる? 魚類性決定機構の不思議」 魚類の「性決定」は、他の脊椎動物と異なり、生息環境の影響を受けやすいと言われています。講義では、脊椎動物に一般的にみられる性決定機構から、魚にみられるユニークな環境依存型性決定機構までをわかりやすく説明します。
情報工学	「人智を超えるゲームAIと人間の新しい関係」 人間のトップを超えるほどに進化したコンピュータ将棋や囲碁の人工知能研究。これらのAIの出現はゲームの世界をどのように変えているのでしょうか? ゲームAIの技術進化を概観し、これらのAIと人間はどう付き合っていけば良いのかについて考えます。 【キーワード】 人工知能、認知科学、マンマシンインタラクション
農学	「安定同位体比から探る水・物質環境、食物網構造」 放射性同位体の ¹⁴ Cが年代復元の指標として使われることは新聞やテレビでも目にしているかもしれません。一方、安定同位体も実は我々の生活や科学の進展に大きく関わっています。今回の講義では、安定同位体比が、地球表層の元素循環や食物連鎖、水循環の理解のための有効なツールとして広く利用されていることを、その原理と共に学んでいくことにします。化学や物理が苦手でも、生物が好きな人にも知ってもらいたい内容です。
外国語学	ロシア連邦固有の言語であるマリ語(Mari, ウラル系)は、マリ人の多くが居住するマリ・エル共和国の国家語として、同共和国の言語法でロシア語と同等の地位を持つと定められているが、近年のロシア連邦政府の政策の変更により、マリ語教育の機会が削減され、言語の存続が危ぶまれている。 授業を通じて、世界の言語の多様性に触れ、ロシアの言語状況について知ること、言語権の問題について考えて欲しい。

系統	内 容
体育学	「食べて、勝つ！ 何を、いつ、どう食べるか、どう飲むか(スポーツ栄養学)」 スポーツの栄養学の基本を学びます。そして、その知識を試合に向けてどう活かすか、身体づくりにどう活かすか、日々のトレーニングでどう活かすかなど、その実践を自分はどうしたらいいか考えます。
経営・商学	「ライフスタイル・マネジメント」 経営の対象には、人・お金・物・情報の4つの要素があります。組織が元気であるためには、組織に所属する「人」が生き生きと能力を発揮することが必要です。「人」の最小単位は自分自身になります。つまり、まず自分自身が健康で元気に働くことが大切です。それが健全な経営(健康経営)や組織の活性化の基礎になります。現代社会の中で具体的に何がリスクとなるのか、何を評価してマネジメントするのかを学ぶのが、この授業です。
社会学	「アメリカ人の愛国心: 社会学的研究から見えるもの」 本講義では、最初に、社会学とはどのような学問かを説明する。その後、アメリカ人の愛国心を社会的に研究した結果を紹介する。具体的には、愛国的なアメリカ人とそうでないアメリカ人にはどのような社会的違いがあるのか、社会構造(人種・宗教・経済階層)が、どのようにアメリカ人の愛国心に影響を与えるのかを、全米で実施されたアンケート調査に基づいて説明する。また、白人キリスト教徒の愛国心の特徴を説明する。
理学	「身の回りの素粒子」 なかなか気がつきませんが、身の回りには様々な素粒子が存在しています。素粒子とは、物質を切り分けていくとそれ以上切り分けることが出来ない最小のものです。それらの素粒子の性質から、身の回りの素粒子について平易に解説したいと思います。
工学	「機械工学科における流体力学」 工学部機械工学科での必修科目の一つである流体力学の模擬講義を行います。流体力学とは水や空気などの流体の運動を扱う学問です。本講義では飛行機はなぜ空を飛べるのか？揚力とは何か？などを例にとり、流体力学の基礎や応用を説明します。併せて、本学工学部機械工学科での研究・大学生活を紹介します。
看護学	「母乳育児サポート」 看護とは／母乳分泌のメカニズム／母乳育児サポート 等
栄養学	「栄養士と考える！元気&きれいをつくる朝ごはん♪」 ①バランスの良い食事についての講義 ②食事記録の記入 ③まとめ
芸術学	「クリエイティブイノベーションの時代」 社会の環境の変化によって、アートやデザインがよりビジネスの中に統合されるようになってきたため、ビジネスプロセスと統合されたデザインプロセスを習得した人材が、社会でますます求められるようになっていきます。そこでクリエイティブイノベーション学科では、デザインの新しい可能性を紹介します。

ネット出願の手続きを始めよう！

来年度入試では、東北大、東京工業大、東京農工大などが新たにインターネット出願(ネット出願)を全面実施(紙の願書を廃止)する。国公立大では約6割がネット出願を実施し、私立大ではこれを上回る状況である。

ネット出願には、パソコンやスマホなどネット環境があれば「いつでも」「どこでも」手続きができるといったメリットがある反面、手続き後に画面に表示される登録票を印刷し、調査書などと一緒に郵送する必要がある。募集要項が電子化されている大学もあり、プリンターの準備も必要となるだろう。既にいくつかの大学でネット出願の手続き(事前登録など)が始まっているので、準備を進めておこう。



一般的なネット出願の手続き

